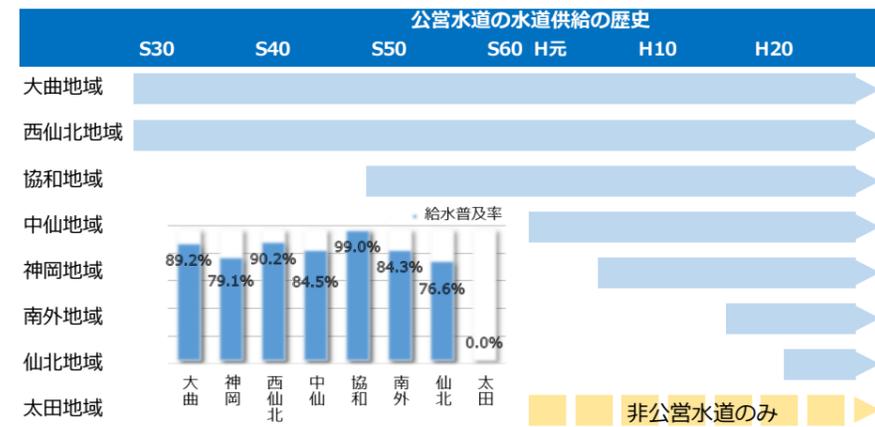


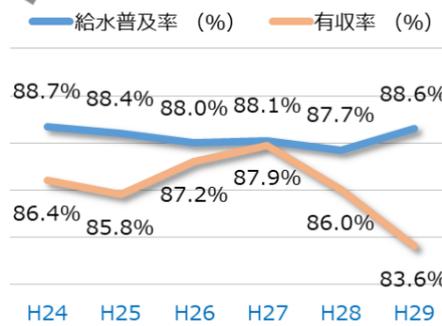
－水道の供給の歴史－

本市では、現在の下水道・簡易水道とも昭和34年4月より給水開始しており、およそ60年の長期にわたり、市民の皆様へ水道を供給してきました。



－給水の現状と課題－

給水普及率は88.6%で10%以上の水道未加入者がいることや、有収率が83.6%と低いことから、大口需要者の創出や新規加入者の拡大により、給水量の減少抑制対策が必要です。

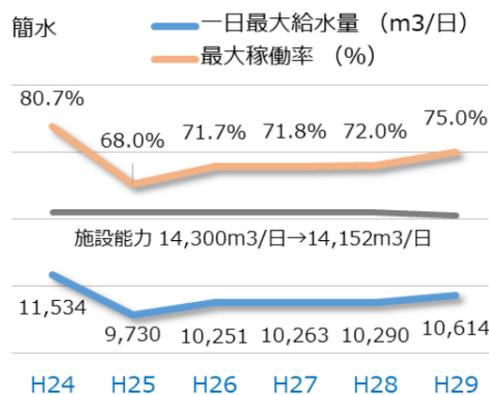
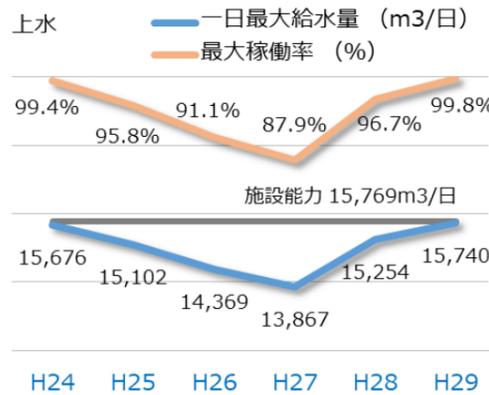


－施設稼働の現状と課題－

市全体の施設能力は29,921m³/日で、最大稼働率は上水道が99.8%、簡易水道が75.0%であり、簡易水道において約3,600m³/日の余剰水があります。

今後も給水量が減少していく中では、施設の統廃合や施設規模の縮小（ダウンサイジング）が必要です。

また、旧行政区域界を超えて余剰水を利用した水道未普及地域の解消、地域間の相互融通などの人口減少を踏まえた水道施設の更新や再構築が特に重要な課題となっています。

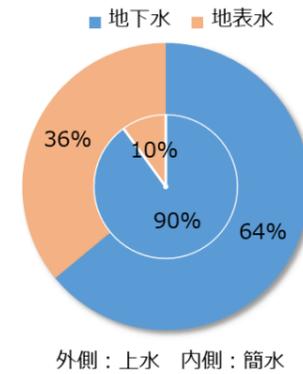


－水源の現状と課題－

本市では主に地下水を水源としています。主に浅井戸から取水する地下水は、上水道では弱酸性、簡易水道では異臭味や色水の原因となる土壌由来の鉄及びマンガンの検出という特性があります。地表水は主に雄物川から取水していますので、降雨や排水等による影響を受けやすいリスクがあります。

そのため、過去の水質データより汚染要因や水質管理上注目しなければならない水質検査項目をまとめ、水質の変化を監視し、安全で良質な水道水の供給を行っています。

原水区分	原水の汚染要因	水質管理上注目すべき項目
表流水	降雨等による高濁水発生	濁度
	水田等における農薬類の散布	農薬類
	畜舎排水	臭気物質、大腸菌群
	油類等による突発汚染事故	油分
地下水	鉄、マンガン土壌	鉄、マンガン及びその化合物
	水田等における農薬類の散布	農薬類
	鉄、マンガン土壌	鉄、マンガン及びその化合物
	下水道終末処理施設、集落排水	臭気物質、大腸菌群



－施設の老朽化の現状と課題－

施設の老朽化の側面からみると、上水道では宇津台浄水場（H28～更新、H31完成予定）、簡易水道では荒沢浄水場と大場崎配水場で耐用年数を超過しています。

さらに、簡易水道は、合併前の町村が水道拡張期に集中して整備を進めたこともあり、20～30年後に集中して更新時期を迎えます。更新時期の集中は資金確保を困難にするため、緊急度を判定して優先順位を付けるなど計画的な施設更新計画の策定が課題になります。

適正な更新に向け、水需要予測に基づく施設能力・規模の見直し、水源水質に合わせた浄水方法の変更、近隣の事業区域では取水施設及び浄水場等の統廃合や水融通、さらには遠方監視・集中監視システムの導入を検討します。



－水道事業の将来予測と経営見通し－

将来予測によると、本市の給水人口及び一日最大給水量は減少し、それに伴い給水収益の減少は確実と予想されます。

財政見通しは、上水道の経常収支比率及び料金回収率ともに100%を超えて推移する予定であり、経営は比較的良好な状況であると言えます。しかし、今後大規模事業による企業債の借入を予定していることから、適正な給水収益の確保が課題となります。

簡易水道の経常収支比率においても100%を超え比較的良好に推移する予定としておりますが、料金回収率については70%を下回って推移する見通しであります。簡易水道事業会計は、一般会計からの基準内繰入金に依存したものであることから、投資的経費の削減や水道料金の適切な設定等による経営改善が課題となります。

－管路の経年化の現状と課題－

管路の経年化の側面からみると、上水道では15.6%（約47km）、簡易水道では3.6%（約23km）の管路が耐用年数を超過しています。

また、施設と同様に、簡易水道の管路整備は水道拡張期のある一定期間に集中して進められたため、管路更新時期が集中して訪れる問題があります。



－水道職員の現状と課題－

水道職員1人当たりの営業収益では、上水道の業務効率化により、上水道と簡易水道の収益の差が縮まっています。しかし、どちらも秋田県上水道の平均値を下回っており、最適な組織規模及び適正な人員配置の実現に向け取組を継続します。

本市の水道職員の平均経験年数は5年未満、技術職員割合は22.6%であり、秋田県平均を下回っています。近年、ベテラン職員の退職等により技術の継承が課題となっており、少ない人員で対応可能な遠方監視システムや集中監視システムなどの導入、抜本的な人材の確保・育成を図るための人材計画の策定や、運転管理の外部委託などの民間力の活用も検討します。

